

俺たちに明日はないッス (2008)

メディア 映画
ジャンル 青春 ドラマ コメディ
製作国 日本
色彩 Color
時間 79分
初公開日 2008/11/22
公開情報 スローラーナー
映倫 R-15

【解説】

さそうあきらによる同名の連作短編コミックを、「赤い文化住宅の初子」「百万円と苦虫女」のタナダユキ監督が映画化。脚本は「リンダ リンダ リンダ」「松ヶ根乱射事件」などの山下敦弘監督作や同じさそうあきら原作の「神童」などを手掛ける向井康介。童貞卒業のことしか頭にない17才の高校生たちの悶々とした青春模様を赤裸々に綴る。

比留間、峯、安藤（安パイ）は、無為で虚しい童貞の日々を送る17才のダメ高校生3人組。同級生の友野とやりたくてしょうがない比留間は、その友野が担任の吉田とラブホテルから出てくるところを目撃してしまう。一方、峯は公園で倒れていた同級生ちづを助けたことで急接近。しかし、物心ついた頃から父親と2人暮らしのちづは、性に関する正しい知識をまるで持ち合わせておらず、興味ばかりが先走り、峯のほうが怖じ気づいてしまい…。そしてデブの安パイは、巨乳の女子・秋恵から告白され、思いがけずラブラブとなるが…。

【クレジット】

監督 タナダユキ
原作 さそうあきら 『ロマンス』『揺れています』『教えてください』（小学館刊『俺たちに明日はないッス』所収）
脚本 向井康介
撮影 山崎裕
美術 谷内邦恵
編集 宮島竜治
音響効果 菊池信之
主題歌 银杏BOYZ GING NANG BOYZ 『17才』
録音 菊池信之
照明 山本浩資
助監督 滝本憲吾
出演 柄本時生 比留間
遠藤雄弥 峯
草野イニ 安パイ(安藤)
安藤サクラ ちづ
水崎綾女 秋恵
三輪子 友野
熊井幸平
歌川椎子

府金茂哉

制野峻右

ダンカン

Dankan

ちづの父

田口トモロヲ

吉田